

NO. 1894
2024年
7月1日
月曜日発行

ひろしま北 民商ニュース

【発行所】広島北民主商工会
広島市安佐南区緑井
6丁目12番10号
TEL 879-4060
FAX 879-4064
Eメール: kitaminsyou@yahoo.co.jp

自主記帳・自主計算
自主申告を貫こう！



インボイス廃止アクション

元気に宣伝活動

6月23日（日）と25日（火）の2回にわたって、インボイス廃止アクション（宣伝行動）を緑井ビックカメラ前と緑井駅前でおこないました。

民商で定例の宣伝行動と税金対策部が呼びかけたもので、23日（日）は梅雨入りの雨の中を、竹本税対部長（川内）や久村会長を先頭に11名で、行き交う車や通行人に「インボイス廃止」の賛同を呼びかけました。

クのヤッケを身に付けて、（雨で拡声器を準備してなかったため）大きな声で呼びかけ、大久保副会長、伊村副会長や事務局ら男性陣も続いて、元気にアピールしました。25日（火）の宣伝行動には梅雨の合間をぬって、広島ドラゴンフライズの朝山選手（次期ヘッドコーチ）の写真入りボックスティッシュを配り切ろうと10名が参加しました。

2回続けての定本さん、片山さん、山田さん、大久保副会長の他、婦人部の新藤さん（相田・西）と山下さん（可部北）、高竹常



雨にも負けず、元気な声で道行く人々にインボイス廃止を訴え



ボックスティッシュも頑張って配り、受け取った方の反応は上々



任理事（沼田）も加わり、インボイス廃止を訴えて宣伝物を配りました。

朝山選手のグッズだからと喜ばれたファンの方や、物価高騰でティッシュが高いからと喜ばれる方など様々でしたが、同封した民商チラシと、朝山選手の「インボイスなら民商が力になります」というメッセージも見えていただき、立ち止まって「インボイスは無くした方が良いですね」と賛同し話が弾んだ方もいらっしゃいました。蒸し暑く参加の皆さんも大変な気候でしたが、1時間余り300箱ほどを配ることができ、元気の出る行動になりました。参加いただいた皆様、ありがとうございました。

【陶山記】

全商連主催「税金問題研究集会」

民商の自主計算運動守ろう！

6月21日（金）夕方から、全商連がオンラインで「第22回税金問題研究集会」を開きました。広島北民商からは久村会長、税金対策部の竹本部長、山下さん、三役・大久保さん、伊村さん、事務局の7名が参加しました。

今回のテーマは「税務相談停止命令制度への対応と自主計算活動を守る運動、デジタル化などで分断される納税者の結集と権利などについて、特別報告や実践報告などがありました。

特別報告では立命館大学教授の望月さんが、大学教員の権利と、権利確立で世界的に大きく遅れている日本の実態などを解説しました。



税対部員を中心に参加し、今後の運動への確信を深める集会に

納税の義務は認知されているが、日本は申告納税制度のもとで納税者は自らが税額を計算する自主申告権を持っています。しかし、実態は権利憲章が定められていない点など、諸外国と比べ納税者の権利が認められていない状況が続いている事などを告発されました。

続いて、フリーランスの会の小泉なつみさんから報告がありました。インボイス反対署名を始めた当初は「少ないから意味がない」と言われた事にも腹が立ち、署名運動を広げた結果、国内で過去最多の59万筆が集まった

期限を確認しましょう。

◎源泉所得税の半年（特例）納付
7月10日まで

年末調整で次年度充当分がある方は忘れずに。6月支給分の源泉税額は「定額減税後の金額」です。

◎社会保険料の算定基礎届
7月10日まで

早めに準備しましょう。

事などを、民商の共闘への感謝も交え報告されました。

税務相談停止命令制度については、報告と問題提起の中で全国のたかひの教訓も共有し、制度の本質や対応を学び、自主申告運動への確信を持つ徹底した学習と理解を深めて行く事で、委縮せず運動を前進させることになる事などを学ぶことができました。

全会員、全納税者の権利に関わる問題を、これから引き続き学び合い、中小業者自らが身に付けていく必要があると改めて感じる集会でした。

【陶山記】

裏面で、参加された方の感想を紹介します。